

第43号 2007.3.20
高知県立幡多けいみん病院発行
〒788-0785
宿毛市山奈町芳奈3-1
TEL (0880)66-2222(代)
http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

News Letter

最新式 64列マルチスライスCT導入

今月から、新しいCT装置（コンピュータ断層撮影装置）が導入されました。このCTは64列マルチスライス式といい、県内でまだ2つの病院にしかありません。

従来の装置に比べ、精度が飛躍的に向上し、今までとは全く違った画像が得られるようになりました。また、検査時における患者さまへの負担が大幅に軽減されました。

新しいCTでは、短時間で大量の検査データが得られるようになり、それをコンピュータで処理することにより、体内の詳細な3次元画像が得られます。



新装置 BrillianceCT64



TeraRecon, INC

腹部画像

まるで、「人体の不思議展」を見ているようです。

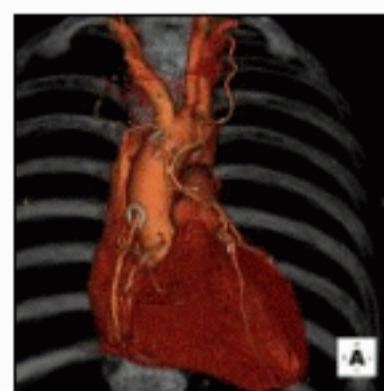
また、腹部を40cm撮影する場合、従来の装置では撮影時間が約32秒であったのに対し、新装置では約9秒と、約4分の1に短縮されました。

さらに、撮影速度がアップしたこと、造影剤が撮影箇所不到達するタイミングを逃すことなく撮影を行うことができ、同量の造影剤で、より多くの情報を得ることが可能です。そして、心臓のように絶えず動いている部位も、鮮明な画像取得が可能となりました。

導入してまだ間もないですが、今後の検査に大いに期待できる装置であると言えます。そこで、CT検査実施が多い循環器科の西田幸司先生に、新装置導入についてお話を伺いました。

「従来、狭心症を診断するため心臓カテーテル検査を行って

きました。入院が必要で侵襲的な検査でした。当院の新しいCTでは冠動脈の評価を外来で短時間に診断可能です。狭心症を疑われ心カテを勧められないが、恐くて受けたくないと言われる患者さま、心カテまで勧めるにはためらわれているといった患者さまなどには、非常に有用だと考えています。」



TeraRecon, INC

心臓もはっきり

病気ひとくちメモ

メタボリックシンドローム

内科 森本 有里恵



平成18年に発表された国民栄養調査によると、メタボリック

シンドロームまたはその予備軍は、40歳から74歳の男性の2人に1人、女性の5人に1人で、わが国では2千万人に達するところが明らかになりました。

メタボリックシンドロームとは、以下の①に加え、②③④のうち2項目以上を満たすことを指します。

- ① ウエスト径 男性85cm以上、女性90cm以上
- ② 中性脂肪150mg/dl以上か、HDLコレステロール値40mg/dl未満のいずれか、またはいずれも満たすもの
- ③ 収縮期血圧130mmHg以上か、拡張期血圧85mmHg以上のいずれか、またはいずれも満たすもの
- ④ 空腹時血糖110mg/dl以上

つまり、高度の肥満ではないがやや太っており、軽い高脂血症があったり、血圧がやや高かったり、糖尿病ではないけれど耐糖能異常があったりと、動脈硬化性の病気に対する軽度の危険因子が重なった人を指しており、このような人には内臓脂肪の蓄

積が認められます。

ではメタボリックシンドロームになると、何が怖いのでしょうか？メタボリックシンドロームは「心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化による病気の危険群」を指しており、放っておくところのような病気にかかる可能性が高くなると言われています。

まずは1年に1回の定期健診により早期発見を心がけましょう。

そして、メタボリックシンドロームおよびその予備軍と判定された方は、食事や運動（1日8千〜1万歩を目安）に気をつけ、過栄養を改善することが肝要です。それにより、内臓脂肪を減少することができれば、一網打尽に検査異常を改善することができ、最終的には血管病を予防できると考えられています。



部署だより

西5階病棟の紹介

西5階病棟

西5階病棟は脳神経外科、耳鼻咽喉科、眼科をメインとした病棟です。

ここ数年の医療の変化により、特に昨年10月以降脳神経外科の患者さまが増え、入院、退院が慌しくなってきました。事実、入院期間は短くなってきており、平成15年度には29日だった平均在院日数が平成18年度には24日となり5日間短くなっています。

脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血等脳神経外科疾患では麻痺や言語障害、嚥下障害等の後遺症を残すこともあります。患者さまの中には「まだ治っていないのに退院させられた」「追い出された」という気持ちになる方もいらっしゃるようですが、決してそうではありません。けんみん病院は、急性期病院としての役割を担っています。地域の病院、診療所、療養施設等と連携をとり、急性期の治療が終了



医師、看護師、理学療法士、ソーシャルワーカー等々のスタッフが集まり、カンファレンスを行っています

した後は転院していただき、治療やリハビリ、療養を継続することによって役割を果たせるようにしています。最良の診療を提供しようと、医師、看護師、理学療法士、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士等々の各スタッフが協力しあって頑張っているところです。入院中、何でも遠慮なく相談していただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。



からだにやさしい食生活

フードファディズム

栄養科



フードファディズムとは、食べ物や栄養が、健康や病気に与える影響を信じたり過大評価することや、テレビなどのメディアの情報に影響され、スーパーのある特定の食品が売り切れてしまう、といったことなどがこれに当たります。

「○○を食べると痩せる」「○○はがんを予防する」などのわかりやすい情報は氾濫しやすく、このような一時的なブームは健康を害することにつながることもあります。

サプリメントを利用する人も増えていきます。サプリメントを摂っていればまずまず健康で大丈夫という考えがあるようです。好きなものを食べて体の調子が悪くなったら、今度は手っ取り早い健康を求めてサプリメント

や特定の食品に依存する。根っこにある不摂生や食事バランスの乱れは改善されることなく、果たして体調はよくなるのでしょうか。

これを食べれば健康が保証されるという魔法の食べ物はありません。「からだにいい」ものに飛びつく前にそれが「一生続けていきたい」ものであるのか考えてみましょう。



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さまへのサービスの向上を目的として活動しています。

2月は合計8件のご意見をお

寄せいただきました。今回は、薬剤処方に関するご意見がありましたので、当院の薬剤処方についてお知らせいたします。

院外処方について



いただいたご意見の中に、「薬の引き換えにたいへん時間がかかる。院外処方にしてほしい」といった、院外処方を希望するものがありました。

当院は主として院内処方により薬をお出ししていますが、院外処方を希望される患者さまには、院外処方の対応をさせていただきます。ただいております。その際、指定薬局はございませんので、患者さまのご利用しやすい薬局での処方を受けられます。

院外処方せんをご希望の患者さまは、診察時にお申し出ください。また、当院のおくすり窓口横に、院外処方せんご希望患者さま用に、FAXを設置しております。窓口で受け取った処方せんを予めFAXでご希望の

薬局に送信しておけば、薬局での待ち時間が短縮されます。操作方法案内も記載してありますので、ご希望の方はご自由に利用ください。



ご意見の集計

分類	回収月	4-2月
	2月	合計
接遇について	3	48
施設、療養生活について	0	29
事務手続きについて	1	25
病院運営、経営について	0	15
感謝、お褒め	1	14
待ち時間について	2	15
その他	1	4
合計	8	150

病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

診療体制変更の

お知らせ

平成19年4月から、小児科の外来診療体制が次のように変更となります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【午前】「一般外来」を従来通り継続します。

【午後】「一般外来」を休止します。

◎慢性疾患患者様（および一部急性疾患の予約患者様）、予防接種希望の患者様のみの受け付けとなります。

◎緊急の患者様は、従来通り救急外来として診察いたします。



4月研修予定

患者さま向け

3日（火）糖尿病教室（糖尿病

のくすり/食事の基本）

*糖尿病教室は興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください。

12日（木）母親学級

17日（火）糖尿病教室（日常生活の注意点①/食品交換表）

26日（木）母親学級

病院職員向け

3日（火）緩和ケアカンファレンス

12日（木）NST勉強会

26日（木）NST勉強会



2月の統計

外来患者数	13,993人
新外来患者数	2,385人
紹介患者数	350人
新入院患者数	537人
退院患者数	548人
平均在院日数	14日
救急車・時間外患者数	1,405人
手術件数	207件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。